資料No.６

令和８年度

富山県公共事業再評価

用　語　集

令和８年７月３０日

富山県農林水産部

土地改良事業用語集

用　語	説　　明
①水利施設整備事業	
ストック マネジメント （長寿命化対策）	施設（例えば水路）の機能がどのように低下していくのか、どのタイミングで、どのような対策を取れば効率的に長寿命化できるのかを検討し、施設の機能保全を効率的に実施することを通じて、施設の有効活用や長寿命化を図り、ライフサイクルコストを低減すること。
再生可能 エネルギー	太陽光、風力、地熱、バイオマス、小水力など、再生可能な資源を活用し、二酸化炭素を排出しない環境にやさしいエネルギー。
②農地整備事業	
ほ場整備（じょうせいび）	ほ場（農地）の区画を大きく整形したり、併せて水路及び農道等を整備し、効率的な農作業と生産性の高いほ場を造成すること。
区画整理（くかくせいり）	農地の有効利用を図るために、農地の整形や用排水路の位置を直す等、土地の区画形質の変更をすること。（ほ場整備と類似語）
暗渠排水（あんきょはいすい）	水田の水はけを良くするための地下排水の一方法で、暗渠（プラスチック系パイプや素焼きの土管）を水田の地中に埋設し、必要なときにその一端を排水路に接続して地中の水を抜くことで、水田の排水性を良くし、農作業の機械化や汎用性（畑作も可能）を図ること。
客土（きゃくど）	耕作に必要な土（耕土）が少ないほ場への補給（おおむね耕土厚１５㎝以上確保）を目的として、他の場所から耕土となる土壌をほ場に運び入れ、散布すること。
汎用化（はんようか）	暗渠排水や客土等を行うことにより、水田の水はけを良くし、水稲のみならず畑作物の栽培を可能とすること。
高収益作物（こうしゅうえきさくもつ）	主食米よりも面積当たりの収益性の高い作物。
担い手組織（にな　てそしき）	一定規模の農地を１つの農業経営体としてまとめて、効率的に農業を経営する組織（農事組合法人・集落営農組織等）。
農地集積（のうちしゅうせき）	ある特定の農業経営体が、農地を「所有」、「借入」、「農作業受託」により利用する農地面積を拡大すること。
農地集約（のうちしゅうやく）	ある特定の農業経営体が、分散している農地を一箇所にまとめて農作業の効率化を図ること。
営農環境整備（えいのうかんきょうせいび）	農道、用排水路等の生産基盤・農村環境を一体的に整備するもの。
③農地防災事業	
洪水調整池（こうずいちょうせいち）	集中豪雨などの局地的な出水により、排水路の流下能力を超過する可能性のある洪水を一時的に溜める池。
防災重点 農業用ため池（ぼうさいじゅうてん のうぎょうよう）	決壊により浸水が想定される区域における住宅等の存在状況や、貯水量等の条件に基づき、決壊時に人的被害を与えるおそれのある農業用ため池。